

方針・目標・計画の策定 【事業計画書】 【業務改善ポリシー】 【年間計画】

分類	No.	方策	目的	[1] 意識改革 (管理職、教職員)	[2] 業務の効率化 (行事、会議、教材研究 等)	[3] 本来業務の充実 (学力向上・生徒指導)	[4] 学校の連携 (保護者、地域、行政)	[5] 組織体制の構築 (効果的・効率的)
A 学校で主に行っていること	1	カエル会議		◎定期的な実施・担当者の設定	◎業務内容の仕分け(明確化)	○業務内容の改善、振り分け	○保護者・地域の視点の追加、熟議	
	2	在校時間管理		◎可視化→タイムマネジメント	○業務の仕分け	○削減できる時間を整理		○会議等の精選
	3	集中タイム		○業務改善による教育への効果	○まとまった時間の確保	◎教材研究等の時間の確保		
	4	留守番電話		○時間超過への意識	◎時間外の対応なし	○放課後の時間を確保	○学校の実態を理解	○留守番電話の配置
	5	諸表簿の電子化		○事務作業の簡略化	◎通知表・要録・出席簿など	○事務作業の軽減		○データの共有
	6	資料のペーパーレス化		○必要な資料の選択	◎職員会議資料等印刷業務の削減	○帳合の時間の削除		○データの共有及び保存が便利
	7	指導案・教材の整理・共有		○校内・町内資料としての共有財産	◎準備時間の削減	◎既存資料の有効活用		○誰でも使える環境整備
	8	スクール・サポート・スタッフの活用		○業務内容の見直し	◎印刷等の業務補助	◎教材準備、環境整備等の補助	○地域の人材活用	◎業務の分担
	9	学校応援団の活用		◎保護者・地域人材の積極的な活用		◎学習活動、環境整備	◎地域人材の有効活用	○メール配信システムの利用
	10	部活動改革		◎生徒の自主的・自発的な活動		○放課後の時間の確保	○部活動指導員の導入	◎部活動方針の設定
	11	HPや学校だよりでの公表		○取組の共通理解を図ること			◎内容、状況の周知・理解	
	12	人事評価		◎効率的な業務による成果の評価				○組織として強化
	13	学校評価		○業務改善による教育への効果			○保護者・地域の視点の追加、理解	
	★		各学校の独自の取組	別紙「伊奈町立小・中学校の取組」				
B 町教育委員会から学校へ通知、 依頼し、行っていること	14	学校閉庁日			○会議、研修等の精選	○教職員の余暇等の充実	○校外見回り等の協力依頼	
	15	学校課題研究の充実		○指導力向上への意欲向上		◎研究内容の深化		○学校の主体的な取組
	16	学校訪問(指導)の充実		○授業力向上への意欲向上		◎授業力向上のための取組		○人材育成
C 会議及び研修会等	17	伊奈町業務改善 プロジェクト委員会		◎最新情報の共有、意識化			◎共通理解、情報共有、参画	○委員の設置→責任の明確化
	18	伊奈町業務改善推進委員会			○各学校の取組の情報共有			◎校内の推進役の育成
	19	マネジメント研修会		○新しい学校経営、人材育成の視点				○リーダーシップ、マネジメント力の向上
	20	学校経営研修会		◎リーダーシップ、マネジメント力向上			○共通理解、情報提供	
	21	教職員全体研修会		◎情報教諭、意欲化	○県学調の活用、学力向上への意欲		○共通理解、情報提供	
	22	校長会と行政の熟議		○経営の意識改革			◎学校の現状を把握	
	23	校長会議・教頭会議		◎情報共有、意識向上			◎情報共有	
	24	学校事務の共同実施			◎事務処理能力の向上			○学校運営への参画意識の向上
	25	視察研修、視察対応・情報交換		◎業務改善に係る新たな視点				○リーダーシップ、マネジメント力の向上
D 町教育委員会が中心となって 行っていること	26	教育長メッセージ		○目的の共通理解、取組意欲の向上			○行政と学校の一体化	
	27	町内全戸配布リーフレット		○働き方改革意識の高揚			◎取組の情報提供、理解	
	28	学校運営協議会設置の準備		◎学校運営の意識の改革			○地域の人材活用	○学校と目的を共有
	29	働き方モデルの確立		◎効率的な業務による成果の評価	○業務の意識化、優先化	○自分のライフスタイルにあった時間の使い方		○校務分掌等役割の明確化
	30	給食費公会計化						◎会計事務の適正化
	31	働き方改革基本方針の策定		◎共通認識、達成目標の明確化		○業務仕分け、働き方の改善	○保護者、地域の理解	○SSS、部活動指導員の配置